

【ポイント】

内政

●連立与党コロラド党バシスモ派はグルメンデス国営通信公社(ANTEL)総裁に対し、大統領選出馬に向けて現職を辞任するよう要請。

外交

- 4日、パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣が中国の重慶を訪問し、第2回中国・CELACデジタル・テクノロジー協力フォーラム及び第5回スマート・チャイナ・エキスポに参加。
- 6日、アルベルトーニ外務次官は、ストックホルムにてスウェーデン・ウルグアイ政策協議を実施。
- アルベルトーニ外務次官は、ヘルシンキにてフィンランド・ウルグアイ政策協議を実施。
- 14日、アルベルトーニ外務次官は、当地にて独ウルグアイ政策協議を実施。
- 19日、ラカジェ・ポウ大統領は、第78回国連総会にて一般討論演説を実施。
- 25日～26日、アルベルトーニ外務次官及びマリアーノ・ペロ大統領府国際協力庁(AUCI)事務局長は、第21回中国ウルグアイ経済・貿易・協力合同委員会に出席。

経済

●過去12か月間のインフレ率は4.79%(7月時点)から4.11%(8月時点)へ。

【本文】

1 内政

(1)次期大統領選関連

当地ブスケダ紙は、連立与党コロラド党バシスモ派がグルメンデス国営通信公社(ANTEL)総裁に対し、大統領選候補者として出馬するため、10月27日までに同総裁の役職を辞任するよう要請した旨報じた。同党シウダダノス派は、すでにシルバ公共教育公社(ANEP)総裁を大統領選候補者とする意向を表明している。当国では、国営企業・公社の幹部を務める人物が選挙に立候補する場合、国政選挙の1年前に退任しなければならない。今後各党は、党内選挙を行い、その後各党からの立候補者が決定される。

2 外交

(1)パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣の中国訪問

4日、パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣が中国の重慶を訪問し、第2回中国・CELACデジタル・テクノロジー協力フォーラム及び第5回スマート・チャイナ・エキスポに参加した。スマート・チャイナ・エキスポは毎年開催されるイベントであるが、ウルグアイは今年初めて展示ブースを設け、nocnoc、GeneXus、Dragon Group、D-Localといったウルグアイ企業が自社製品を展示した。

(2)スウェーデン・ウルグアイ政策協議

6日、アルベルトーニ外務次官、及び Knutsson スウェーデン外務次官は、ストックホルムにてスウェーデン・ウ

ルグアイ政策協議を実施。両次官は、良好な二国間関係に満足の意を表した。また両国は、2024年に二国間のワーキングホリデー・プログラムの合意を再開する決定について確認した。

(3)フィンランド・ウルグアイ政策協議

アルベルト・ニ外務次官、及び Puustinen フィンランド外務次官は、在フィンランド・ウルグアイ大使館開設10周年の枠組で、2019年以来初となる対面での政策協議をヘルシンキで行った。同政策協議では、二国間・地域・多国間アジェンダの確認や様々な原則の一致を強調しつつ、両国間の良好な関係についてレビューした。

(4)独ウルグアイ政策協議

14日、アルベルト・ニ外務次官は、当国を訪問したリントナー・ドイツ外務省国務大臣と独ウルグアイ政策協議を実施。両国は、民主主義の擁護、人権の尊重等、両国が共有する伝統的な友好関係と価値観を再確認した。

(5)米企業からの船舶の購入予定

国防省は、米企業 Global Seas LLC 社から海洋調査船を170万ドルで購入予定。同船舶は、全長70メートル、幅13メートルで耐用年数約15年、推定科学設備140万ドルであり、共和国大学、農牧水産省、環境省、運輸公共事業省、国防省、国営燃料・アルコール・セメント公社(ANCAP)、及び国営通信公社(ANTEL)の任務遂行を可能とする。国防省は、安全な航行のためには約200万ドルのドック工事が必要であり、同船舶の調達にかかるプロジェクトの資金調達は、海軍の予算で行われる予定であると発表した。

(6)米企業の耐地雷・伏撃防護装甲車 M-ATV の購入予定

ガルシア大臣は、上院財務予算委員会において、国境警備とウルグアイが派遣する PKO 活動のために2024年の受領開始を目指し、米企業オシュコシュ社の耐地雷・伏撃防護装甲車 M-ATV20台を購入するためのLOA(Letter of Authorization)を米国政府と交渉している旨述べた。

(7)ブスティージョ外相の SDGs サミット演説

18日、ブスティージョ外相は、ニューヨークで開催された SDGs サミットにて演説を行った。同演説にてブスティージョ外相は、ウルグアイが国家制度に SDGs を取り入れ、環境、脱炭素化、税制、食糧、土地と水の使用に関する変革的な公共政策を生み出したと述べた。また同外相は、ウルグアイが2030アジェンダのコミットメントを推進し、自発的な報告書を提出している旨強調した。

(8)ラカジェ・ポウ大統領の第78回国連総会一般討論演説

19日、ラカジェ・ポウ大統領はニューヨークにて演説を行い、強制力のない国際法が存在し、大国にも小国にも等しく基準が適用されていないと指摘した。またラカジェ・ポウ大統領は、世界の指導者たちの責任は大きくなっており、対話がアクションである世界において、世界の指導者は言葉をもって結果を生み出すことが可能であると述べた。演説の最後にラカジェ・ポウ大統領は、ロシアによるウクライナ侵攻を強く非難し、ウクライナ国民との連帯を表明した。

(9)米国安全保障部隊支援旅団(SFAB)のウルグアイ派遣予定

米国は、米ウルグアイ両国軍のパートナーシップ強化を継続し、共通の国家安全保障目標を推進するため、2024年に安全保障部隊支援旅団(SFAB)を派遣し、ウルグアイとの最初の交流機会を実現することに向けて取り組んでいる。SFABは、2017年創設の米国の特殊エリート軍隊であり、そのミッションは、世界各国との助言、支援、連携、評価業務を遂行することである。

(10)仏ウルグアイ租税条約交渉

21日、当国外務省は、フランスとの第1回租税条約交渉を実施した旨発表。同省は、安全と透明性に寄与す

るツールの構築を通じて、仏ウルグアイ両国間の関係性を引き続き深化させていく旨伝えた。

(11) アルベルト・ニ外務次官の中国訪問

25日～26日、アルベルト・ニ外務次官及びマリアーノ・ペロ大統領府国際協力庁(AUCI)事務局長は、第21回中国ウルグアイ経済・貿易・協力合同委員会に出席。今次訪中ミッションは、要人往来準備として、経済・貿易を扱う第1グループと開発協力を扱う第2グループの2つのフェーズで構成され、第2グループでは、中国国際開発協力庁(CIDCA)との会合を実施した。26日、アルベルト・ニ外務次官は、華春瑩(HUA Chunying)外交部部長助理(vicecanciller)、及びCIDCA副長官とそれぞれ会談を実施し、二国間関係等につき協議した。またマリアーノ・ペロ AUCI 事務局長は、国家留学基金管理委員会(China Scholarship Council)、南極問題(を取り扱う機関)、中国宇宙技術アカデミー、及び深宇宙探査研究所との会議も行った旨述べた。

3 経済

(1) メキシコ市場への食肉輸出再開

1日、当国農牧水産省は、新型コロナウイルスの影響で3年間停止されていたメキシコ市場への牛肉及び羊肉の輸出が再開された旨発表。今次再開による食肉の輸出は2年間有効とされ、22社のウルグアイ食肉企業がメキシコへの輸出権限を得ている。

(2) 8月までのインフレ率

国家統計院(INE)の発表によると、過去12か月間のインフレ率は7月時点の4.79%から4.11%となり、3か月連続で当國中銀の目標値である3%～6%の範囲内に収まった。

4 要人往来

(1) 往訪

- ・8月30日～9月9日：パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣の中国訪問(第2回中国・CELACデジタル・テクノロジー協力フォーラム及び第5回スマート・チャイナ・エキスポ参加。)
- ・4日～9日：アルベルト・ニ外務次官のスウェーデン及びフィンランド訪問(第5回スウェーデン・ウルグアイ政策協議、第4回フィンランド・ウルグアイ政策協議の実施。)
- ・10日～11日：ラカジェ・ポウ大統領のチリ訪問(チリ・クーデター50年追悼式典出席。)
- ・10日～16日：ブスティージョ外相のチリ、フランス訪問(チリ・クーデター50年追悼式典出席、仏ウルグアイ首脳会談出席。)
- ・13日～14日：ラカジェ・ポウ大統領のフランス訪問(二国間首脳会談の実施。)
- ・12日～17日：アルベレチェ経済財務大臣のスペイン訪問(ラテンアメリカ開発銀行(CAF)総会出席。)
- ・17日～21日：ラカジェ・ポウ大統領、ブスティージョ外相の米国訪問(第78回国連総会出席。)
- ・21日～29日：アルベルト・ニ外務次官の中国訪問(第21回中国ウルグアイ経済・貿易・協力合同委員会出席。)
- ・23日～28日：マツス農牧水産大臣のイタリア訪問(FAO 持続可能な畜産転換世界会議出席。)
- ・30日：パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣の米国訪問(米州水素サミット・展覧会2023出席。)

(2) 来訪

- ・14日：リントナー・ドイツ外務省国務大臣の当地訪問(独ウルグアイ政策協議の実施。)